

第390回大阪大学臨床栄養研究会（CNC）

日時：平成30年9月10日（月） 18:00—19:00

場所：大阪大学医学部講義棟2階 B講堂

テーマ：「臨床栄養をいかに教育するか— 医学部学生に対する教育経験をもとに」

臨床栄養学は、病院に所属するあらゆる職種にとって必須の知識であるが、卒業後は系統的に栄養学の知識を学ぶ機会は少ない。そこで、大阪大学では平成22年度から医学部5回生に対し、医師、管理栄養士が中心となって、臨床栄養に関する知識を習得させ、この分野の重要性を認識させるための取組みを実施している。具体的には、1学年を3グループ（各30名程度）に分け、各グループの学生に症例を提示して、輸液、栄養に関する処方が可能となるような講義および演習を実施している。管理栄養士は、栄養評価の基礎知識、チーム医療の重要性を講義し、経腸栄養剤と病院食を体験させている。今回、これらの取組みを紹介しながら、今後の人材育成の方向性を議論したい。

1. 「臨床栄養学教育の現状と取組み」

栄養マネジメント部（小児外科）和佐 勝史

2. 「管理栄養士による医学部学生への臨床栄養教育」

栄養マネジメント部（栄養管理室）白波瀬 景子

世話人：栄養マネジメント部（小児外科）和佐 勝史

E-mail: wasa@ped surg.med.osaka-u.ac.jp

次回、第391回CNCは、大藪恵一先生のお世話で平成30年10月15日（月）開催予定です。